

防災・減災教育を

考える集い

諫早大水害から六十五年。長崎大水害から四十年。
子どものいのちを守り、未来を変えるために
今、私たちができることをみんなで考えてみませんか。

令和4年度



観覧無料
申し込み不要

2 絵本原画展

防災・減災を考えるための絵本

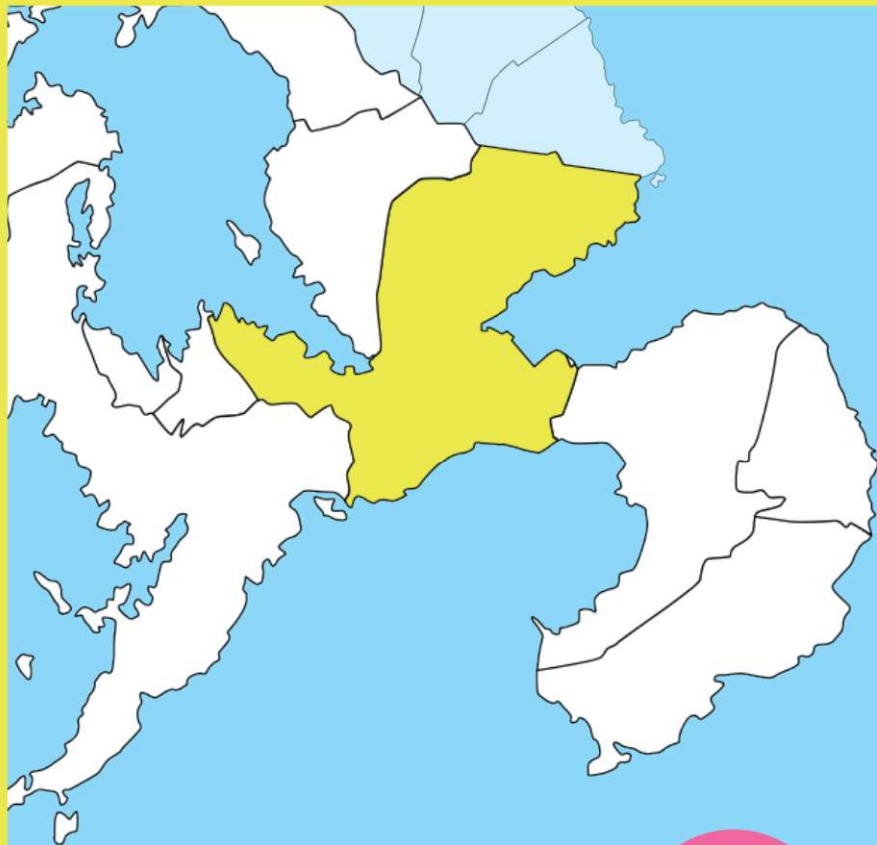
「うみといきる」

ふくいてる作 いとう良一 絵

日時 2022年 **10月7日 金** ~ **12日 水**
(10:00~19:00) ※10日(月)休館

会場 **諫早図書館ロビー**
諫早市東小路町6-30

図書館ボランティア『としょかん広場』による読み聞かせ
10月8日 日 14:00~15:00 (図書館内)



1 シンポジウム

参加費無料
事前申し込み
定員80名

【講演】

諫早大水害の経験から、今伝えたいこと

講演者 古賀文朗さん (諫早市自治会連合会 会長)

【トークセッション】

子どものいのちを守り、未来を変える ために、今、私たちができること。

加藤篤さん (NPO法人日本トイレ研究所 代表理事)

登壇者

古賀文朗さん (諫早市自治会連合会 会長)

福井照さん (チームレジリエンス Japan 代表)

松山厚子さん (諫早市総務部危機管理課 参事補)

コーディネーター

鈴木みゆきさん
(國學院大學人間開発学部子ども支援学科 教授)

日時

2022年 **10月7日 金**
18:00~20:00 17:30~受付予定

会場

諫早市中央公民館講堂
諫早市東小路町8番5号(市民センター)

参加
お申し込み
フォーム



主催：国立諫早青少年自然の家
(企画・運営：佐賀・長崎地域ぐるみで「体験の風をおこそう運動」推進実行委員会)
共催：諫早市・諫早市教育委員会

体験の風をおこそう

諫早青少年
自然の家
ホームページ





講演者・登壇者

古賀 文朗 こがふみあき
(諫早市自治会連合会 会長)

1939年、諫早市生まれ。平成19年から八坂町自治会長、平成27年から自治会連合会会長を務めている。高校3年生の時、諫早大水害を体験。命からがら屋根に上がり近所の方々と避難の中、一杯の飲み水に事欠いたことで非常時の心構えと、備えの大事さを悟り現代に語り継ぐ。日々転ばぬ先の杖を探し求め、痛みも苦しみもなく三途の川を楽々と渡る方法を真剣に模索する高齢者である。



登壇者

加藤 篤 かとうあつし
(特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事)

1972年、愛知県生まれ。まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教職員等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうちの大切さを伝える出前授業、子どもの排便に詳しい病院リストの作成などを展開している。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。



登壇者

福井 照 ふくいてる
(チームレジリエンスJapan 代表)

1953年、大阪市生まれ。1976年建設省入省、2000年6月から衆議院議員として政策の企画立案業務に従事。防災減災国土強靱化とこどもまんなか政策をライフワークとする。インフラのlongterm managementにも取り組む。PFIによる公共事業の展開にも取り組み官民の連携にこの国の形の未来を夢想する。今は実体験から一人の命も失わない日本社会を創造したいと考える。



登壇者

松山 厚子 まつやまあつこ
(諫早市総務部危機管理課 参事補)

1968年、諫早市生まれ。佐賀大学土木工学科卒業後、平成4年度諫早市入庁。長崎県内初の女性土木技術職員として採用される。平成7年、阪神・淡路大震災の際には、災害派遣職員として、罹災証明書発行等の業務に携わった。令和4年度の機構改革により新たに自然災害に強い街づくりに特化した危機管理課新設に伴い配属。全国でも数少ない女性の防災担当職員として注目されている。



コーディネーター

鈴木 みゆき すずきみゆき
(國學院大學人間開発学部子ども支援学科 教授)

博士(医学)。和洋女子大学人文学群こども発達学類教授、独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長を経て現職。過去には文部科学省中央教育審議会幼児教育部会委員、厚生労働省社会保障審議会保育専門委員会委員、墨田区教育委員会教育委員などを歴任した子ども教育のスペシャリスト。現在、内閣府「子ども・子育て会議」会長代理などを務める。NHK「みんなのうた」、「おかあさんといっしょ」等に詞の提供も行う。

開催によせて

絵本『うみといきる』イラストレーター
いとう良一氏コメント

日本で暮らしていると自然災害はとても身近な現象で、予測が出来るようになってきても普段からの備えと心がまえが大事です。海は恐ろしい牙をむくときもありますが、私たちの暮らしを支えて豊かにしてくれる存在でもあります。絵を見てその両面を理解して、海に生かしていただく、海と一緒に生きていく事を考えるきっかけになればうれしく思います。

新型コロナウイルス感染防止対策について

- ①37.5度以上の発熱、体調のすぐれない方は参加をお控えください。
- ②マスク着用、手指消毒の徹底にご協力ください。
- ③受付時に、予約確認、検温を行います。

※プログラムの内容及び開催については、変更となる場合がございます。
※最新情報は自然の家ホームページをご確認ください。
※撮影した写真や制作物は本事業の報告や自然の家の広報等で使用する場合があります。

お問い合わせ

国立諫早青少年自然の家 担当: 寺中・上戸
TEL:0957-25-9111/FAX:0957-25-9116 isahaya-sen@niye.go.jp